



菊武学園フラッシュニュース

人生100年時代の社会人基礎力グランプリ 中部地区予選大会で最優秀賞

名古屋産業大学では、現代ビジネス学部経営専門職学科3年生の2チームが2月11日にオンラインで行われた「人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ」（一般社団法人社会人基礎力協議会主催）の中部地区予選大会で最優秀賞、優秀賞と審査員特別賞を受賞しました。最優秀賞の受賞は、本学としては初の快挙です。最優秀賞を受賞したチームは、3月15日に行われる全国決勝大会に出場します。

社会に出て経営のプロフェッショナルに近づく、武器と経験を手に入れるために、昨年の春学期に取り組んだ3カ月間の企業実習で得た気づきや課題を発表した「加藤翔一郎さんと神谷優磨さんのチーム」（指導教員：今永典秀准教授）が取組内容やプレゼンテーションの会話力などが高く評価され、最優秀賞を受賞しました。また、企業実習での取り組みを発表した「永田怜龍さんと長谷川雄紀さんのチーム」（指導教員：松林康博准教授）が優秀賞と審査員特別賞を受賞しました。



（受賞した経営専門職学科の学生）

このグランプリは、経済産業省がとりまとめ定義した「人生100年時代の社会人基礎力」の育成に資する各大学の取り組みと、その取り組みで成長をとげた学生らの多様な事例を審査、表彰し、その事例の周知を図るものです。

普通科総合コース「平安文化への誘い」

菊華高等学校では、1年普通科総合コースでは、古典文学に興味を持ってもらう位置づけで、平安時代の貴族が朝廷で着用した女性の衣装「十二単」と男性の衣装「束帯」の着せつけを鑑賞しました。

当日は、衣装の着せつけと解説をプロの先生方にお話し、衣装の色は、冠位によって違っていることなどを学びました。

生徒たちの感想として、「十二単はたくさんの紐をつかっているわけではなく、最後に一つの紐でできているというのを知って、こんなにきれいにできることに感動した。」「十二単や束帯を着るところはなかなか見る機会がないので、貴重な体験をすることができてよかった。」「古典は現代の言語とは少し異なっていて難しいので、あまり好きではなかったけれど、今回初めて十二単や束帯の着せつけを見て少し考えが変わった。」「着物にどのような種類があるのか、どのような色があるのかを調べていきたいと思った。」などがありました。



（十二単の着せつけ）



（束帯と十二単の着装）

2年生対象の就職準備講座を実施

菊武ビジネス専門学校では、2月20日、名古屋中公共職業安定所より講師をお招きし、2年生の就職希望者とその保護者を対象とした「就職準備講座」を実施しました。講座には生徒17名、保護者9名が参加しました。

当日は「就労に必要な力とは？ その準備」と題して、就労に必要な力を知り、今自分に不足しているものを今後の日常生活の中で準備していけるよう、お話をいただきました。参加生徒は、自分に何ができて、何ができないのかをチェックシートを使って真剣に確認していました。これからの学校生活をどう送るべきかを考えるよい機会となりました。



（就職準備講座の様子）

第27回卒業作品展を開催

名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院では、2月3日と2月4日の2日間にわたり、名古屋市中区栄の複合商業施設ナディアパークの2階アトリウムに於いて、“FOCUS”をテーマに2年間で夢中になったことを表現し作り上げた「第27回卒業作品展」が開催されました。

ブライダルビジネス科ドレス・ヘアメイクコース、フラワービジネス科、トータルビューティ科の2年生が、展示作品とショーで2年間の学びの集大成を披露しました。

作品展に向けての準備にかけた長い時間のひとつひとつが、学生たちにとって大切な思い出です。2日目の千秋楽では、感極まって涙を流す2年生の姿がたくさん見られました。

会場に足を運んでくださった皆さま、ありがとうございました。



給食試食会を開催

菊武幼稚園では、菊武幼稚園PTA主催の給食試食会が2月7日、新型コロナウイルスの影響で3年ぶりに2階講堂で開催されました。

今回は開催にあたり、事前に保護者の皆様へアンケートを取り、開催を希望する保護者が全体の3割を超えたため、参加申込書を配布したところ、当日は26組の親子の皆さんが参加されました。試食会は未就園児の皆さんも参加し、栄養士さんからのお話の後で、試食がはじまりました。

保護者アンケートでは「お弁当のご飯は、冷たくて固いと思っていましたが、温かくふっくら柔らかいもので、とてもおいしかったです。栄養バランスが整っていて良いと思いました。」「給食の味や量がどんな感じなのかわかり、参加して良かったです。また、栄養士さんからのお話も沢山聞く事が出来て勉強になりました。」「楽しみに来ました。2歳の息子も試食でき嬉しそうでした。」と高評価のご意見をいただき、今後も開催の方向でPTAの方と検討していきたいと思えます。



（給食試食会の様子）

年長児「みんなのおうち」をつくる

稲葉保育園では、2月20日、園児が取り組む卒園製作の一環で、地元の工務店「ナンバホーム」の大工さんの協力のもと、年長児が釘打ち体験をして、砂場横に「みんなのおうち」を作りました。

ヘルメットを被り、釘袋を腰につけて金槌で釘を打つ表情は真剣そのもの。最初はねらったところに金槌がおろせずでしたが、2回、3回と繰り返すうちに釘を打つ姿も様になってきました。

体験した子どもたちからは、「面白かった。」「小さな家でも大変なのに、大工さんはすごい。」といった声が聞かれとても貴重な体験となりました。

この様子は、2月22日の中日新聞朝刊（なごや東版）に掲載されました。

